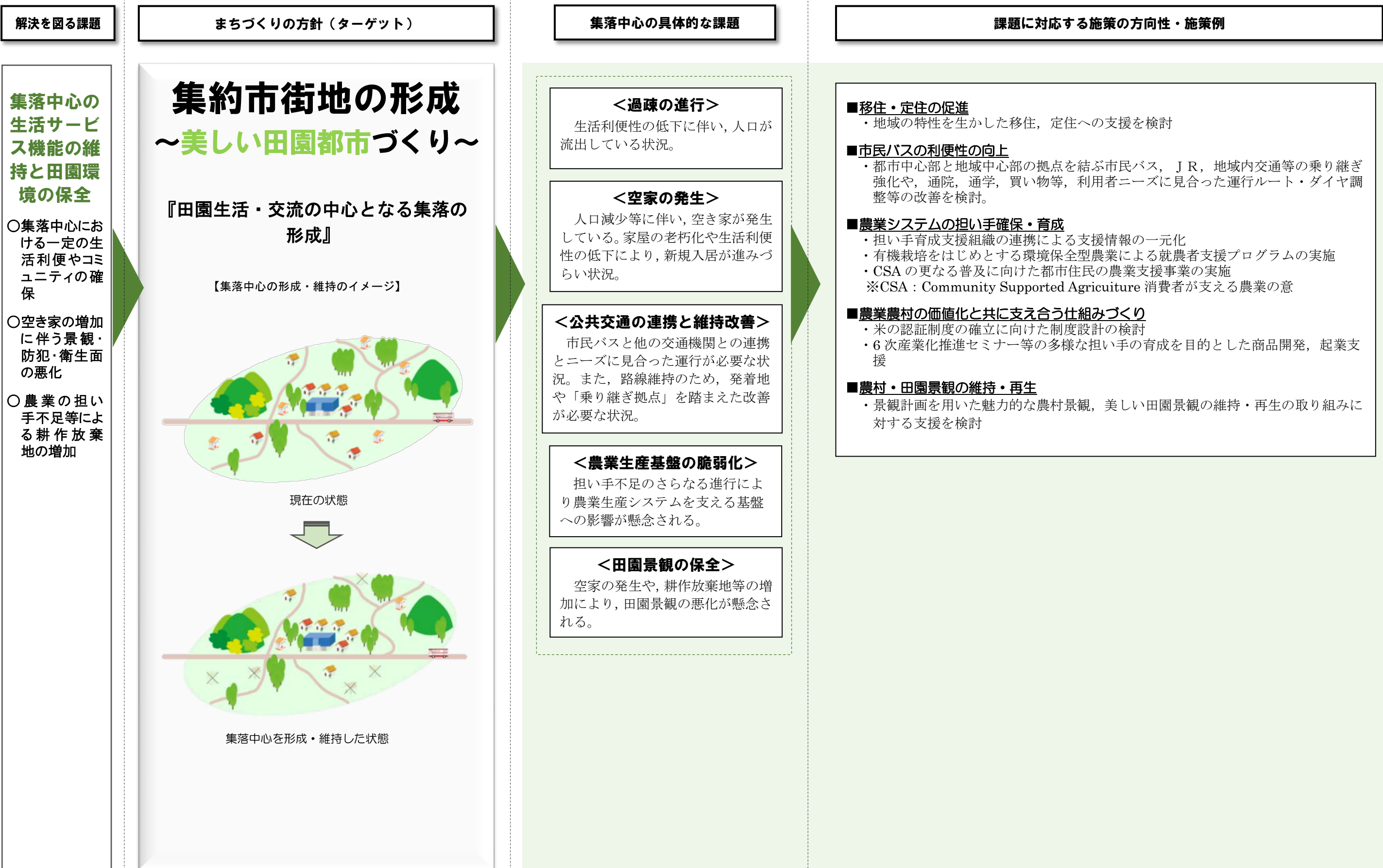


〈参考〉 集落中心における施策



# 「田んぼダム」による洪水防止 ～水害に強い地域づくりを目指して～

—洪水防止機能—

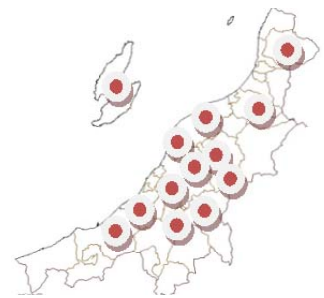
## 新潟県（農地部）



洪水を防止・軽減する水田  
(新潟県村上市神林)

新潟県は、低平地が多く、以前から大雨が降ると洪水などの被害を受けることが多かった。

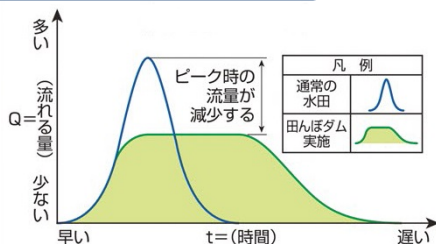
平成 14 年に旧神林村（村上市）で下流域の集落から上流域の集落に呼びかけ、上流の水田に雨水をためる「田んぼダム」の取組が始まった。水田の洪水防止機能※を強化するこの取組は年々拡大しており、平成 26 年度は新潟県内 13 市村 66 地域約 1 万 2 千 ha で取り組まれた。



新潟県村上市ほか、12 市村

※ 水田の洪水防止機能とは  
水田に一時的に雨水をため徐々に排水することで洪水を防止・軽減する機能。

雨水の流出抑制イメージ図



新潟県長岡市深才流域のシミュレーション事例

田んぼダムを実施しない場合



田んぼダムを実施した場合



### 〔洪水防止〕

「田んぼダム」は、洪水防止機能を強化するため、水田の排水口に調整板などを設置して水の流出抑制を行い、雨水を一時的に水田にため徐々に排水することで洪水を防止・軽減する取組。これにより、多くの農地・農作物への浸水被害防止の他、住宅等への洪水被害軽減も期待できる。

長岡市深才流域の浸水シミュレーション（新潟県）の結果、田んぼダムを実施することで、約 54% 浸水面積が減少し、豪雨当日の洪水被害を軽減させることが明らかとなっている。

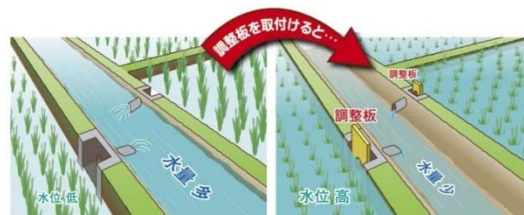
### 〔地域社会の振興〕

田んぼダム活動を集落全体で取り組むことにより、農家と非農家の連携を深め、地域の防災意識の啓発が図られている。

新潟県では、技術的な検証や情報発信を行いながら、田んぼダムの拡大を図り、水害に強い地域づくりを目指している。



排水口より  
小さな穴の  
開いた調整  
板を設置



調整板が無い場合

調整板を設置した場合